

# 子育てを育んでいるなら前橋で

## 多彩な事業でパパ・ママをサポート



親子元気ルームで触れ合いを

少子高齢化が進む中、前橋が元気になるためには、地域の活力を高め、市民の誰もが安全に安心して暮らせるまちづくりが必要です。本市では第六次総合計画の中で、人もまちも光り輝く「生命都市いきいき前橋」を将来都市像に掲げています。今回はその施策の一つ「未来を築く子どもたちを安心して健やかに育てていける環境づくり」にスポットを当て、考えていきます。

問い合わせは  
 こども課 ☎2200-5701  
 保育課 ☎2200-5705



め細やかな対応が欠かせません。

本市では、妊娠・出産から育児までの総合的な子育て支援サービスを提供する拠点として、前橋保健センター内にこども課と保育課を設置しています。

### ■こんにちは赤ちゃん事業

生後4カ月までの子どもがいるすべての家庭を、地域の保健推進員が戸別訪問。育児に対する不安や悩みの相談に乗り、子育てに関する情報提供を行います。

### ■すこやか健康教室

保健師や保育士、歯科衛生士、管理栄養士などが申し込みをした人の所に伺い、講話や遊びなどを行う事業。子どもの病気や事故防止、歯磨き指導、

### 安心して子育てできる環境整備

#### ■子育て支援の拠点を設置

子どもを安心して生み育てる環境を整えるには、子育ての不安や負担を取り除くことが重要です。そのためには、子育て支援の充実と家庭や児童へのき

### 経済的負担の軽減制度も充実

#### ■妊婦健診などの充実

妊婦健診に掛かる費用を軽減し、安心して出産を迎えられるように、本年度から妊婦健診の助成回数を、これまでの6回から14回に増やしました。また、特定不妊治療費や一般不妊治療費の助成も行っています。

#### ■保育料の軽減

保育所(園)の保育料軽減事業として、第3子以降の保育料を無料にしています。これは保護者の所得制限を設けずに実施。また、第1子の保育料は国基準に対して70%に軽減。第2子は、兄弟同時入所で国基準が50%に軽減のところを40%に軽減しています。

幼稚園の保育料については、入園料、保育料の一部補助、第3子以降保育料の軽減を行い、子育て世帯を支援しています。

#### ■こども医療費の無料化

昨年4月から、中学卒業までの子どもを対象に医療費を無料にしました。これは本市が県内12市の中で最初に実施したもの。入院・通院を問わず、保険証と医療券のみで受診できます。

#### ■幼児2人同乗用自転車購入費の助成

7月1日から幼児2人同乗用自転車が解禁。本市では、全国に先駆け安全

### 親子で一緒に楽しめる施設

#### ■子育てひろば

平成19年12月、前橋プラザ元気21内にオープン。気軽に集まり語り合える「親子元気ルーム」(☎210-2268)や、いろいろな遊具で遊べる「プレイルーム」(☎210-2258)があります。これらの利用はすべて無料。大変人気のある施設です。

#### ■こども図書館(☎230-8833)

前橋プラザ元気21内にある、子どもに関連した情報を集めた図書館。昨年度から、1歳未満の赤ちゃんへ無料で絵本を配布する「ブックスタート事業」を行っています。

### 地域と共に支える子育て

子どもは明日への希望。子どもを幸せに育てることが、本市の未来を開くことにつながります。子育て環境の充実には、行政の力だけでなく、地域の人たちの力が必要です。

これからも地域と連携し、「子どもを育てるなら前橋で」と言われるよう、子育てを支援していきます。

栄養と食事、ベビーマッサージなど、実技を交えながら楽しく学べます。

#### ■元気保育園子育て応援事業

昨年度から始まった本市独自の新しい事業。妊婦から在宅で子育て中の親子を対象に、市内全保育園が子育てをバックアップ。保育園の園児との交流や給食体験、園庭開放、悩み相談などを通して、お母さんになる不安や子どもへの育ちに関する悩みを解消します。

#### ■地域子育て支援センター

本市では、現在13カ所の保育園などに地域子育て支援センターを設け、専

門的な職員を配置。在宅で子育て中の親子同士の交流を促進しています。

#### ■ファミリー・サポート・センター(☎230-9007)

育児の援助を受けた人や育児の援助を行う人が会員となって、育児の手伝いを有料で行うシステム。ことし3月末現在の会員数は約1,200人で、昨年度中は約3,500件の利用がありました。保育施設の保育開始前や保育終了後の預かり、保育施設までの送迎、習い事などの場合の利用が多くなっ

